



遠隔授業も第1Qを終え、法学類では基本的に遠隔を続けるものの、全学的には対面も組み込まれつつ第2Qが始まりました。今号は鶴澤剛先生の、山椒のようにスパイスを効かせたエッセイと、皆さんからいただいた今般の自粛期間についての声を紹介します。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 41 回 鶴澤剛先生（法科大学院・行政法）

◆オンライン授業が明らかにしたもの

法学研究科法務専攻（いわゆるロースクール）で行政法を教えている鶴澤です。法学類の授業は、総合法学コースの方向けの「総合法学演習」くらいしか担当していないので、はじめて耳にしたという方も多いと思います。

新型コロナウイルス騒ぎで授業がオンラインになり、しばらく経ちました。オンライン授業がここまで大規模に実施されるのは、もちろんはじめてのことで、様々な問題が予想されました。その最たるものは、受信者（学生）側の通信環境で、法学類でも法務専攻でも、事前にアンケート調査が実施されたのは、記憶に新しいところだと思います。このように、生じそうな問題を予想して事前に対処するということは、しかし、必ずしも全ての場面で行われたわけではありませんでした。たとえば、アクセスが集中してサーバーがダウンする事態（いわゆる「鯖落ち」）は、もちろん一部の人は想定していたのですが、見通しが甘かったのか、それとも何も考えていなかったのか、よく知りませんが、オンライン授業が開始されてから案の定鯖落ちを発生させ、緊急メンテナンスを実施する事態に陥った大学も、どことは言いませんがあったような気がします。授業のオンライン化は、それを実行したら何が起こるかについて、想像力が欠如している人間が、大学運営側に一定数存在していたことを浮き彫りにしたように思います。

本当はもうちょっと書きたいことがあったのですが、紙面が尽きそうなので、これで終わりにします。続きが知りたかったら、声をかけてください。

What's going on?

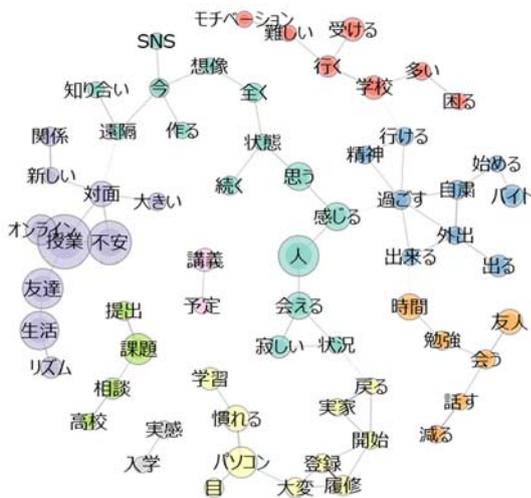
学生アンケートより

外出自粛期間の学生生活に関する法学類生の声

つい半年前までは誰も想像していなかったコロナ自粛生活。誰も経験したことのないまさに「今」をどう感じているのか、法学類生の意見を聞いてみました。2年生以上は公認サークルの法友会・法律相談所の協力を得て、1年生については全員を対象とした自由記述式の調査で、それぞれこの生活についての「Q1 ネガティブな面」と「Q2 ポジティブな面」とについての回答を募りました。

いただいた回答を、法学類教員の協力を得て「共起ネットワーク」分析を行い、その図とともにご紹介します。アンケートにご協力いただいた学生の皆様、ありがとうございました。

【Q1 ネガティブな面】オンラインで講義が行われることそれ自体に対する不安や、人と会わないことに対する寂しさなどが大きくうかがわれます。

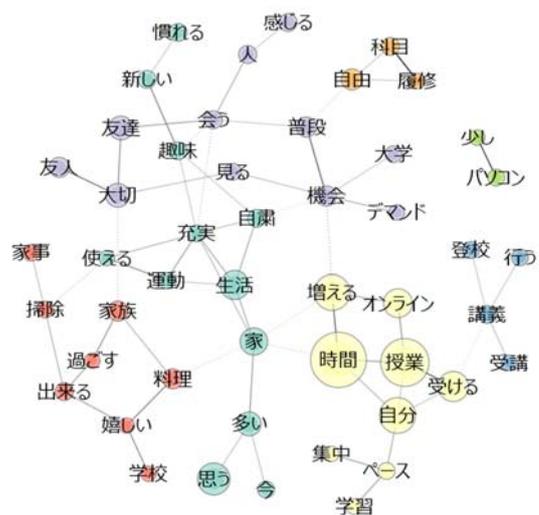


勉学については「オンライン授業ではモチベーションを保つのが難しい」「友人と意見交換できないため、重要ポイントが分からない」「先生のキャラクターが分からず質問しづらい」などの声が聞かれました。生活面では「生活リズムが不規則になった」「人と喋らなくなり気持ちが落ち込みやすくなった」などの声もありました。

特に1年生に関しては「新しい環境に一人ぼっちで過ごしていたためストレス増大」「ちょっとした疑問を気軽に聞ける人がいない」「履修登録や課題提出がちゃんとできているか不安」「大学が再開してから新しい人間関係を築けるか不安」との切実な回答が目立ちました。

【Q2 ポジティブな面】オンライン授業については、自分のペースで学べること、自分の時間を持てたことなどが好感されています。

勉学については「登学や身支度の時間が省け時間が増えた」「教科書を以前より読みこむようになった」「繰り返し授業内容を確認でき、予習復習の時間も十分にあった」などの回答がありました。その他多かったのは「家族や友人のありがたさを改めて実感した」「今までの日常が本当に大切なものだったと気づいた」という声。「自炊をするようになってQOLが上昇した」「趣味の幅が広がった」「ダイエットや筋トレに励んでいる」などの自宅時間有効活用の声も目を引きました。



【教員からのコメント】

学生からは、ここでは紹介しきれないほど多くの意見をいただきました。とりわけネガティブな面については現時点で解決策を提示できないものの、憂慮はしています。ここで呼びかけるしかできないのですが、ポジティブな面の回答を参考にして、できるだけ気を楽しんでください。そのポジティブな面での回答については、登学の時間が省けたことについて好感する声や、自炊や筋トレなどに励んでいる人が結構多く、感動しました。若いっていいですね。

法学類P
ANGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。
(<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>)
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。